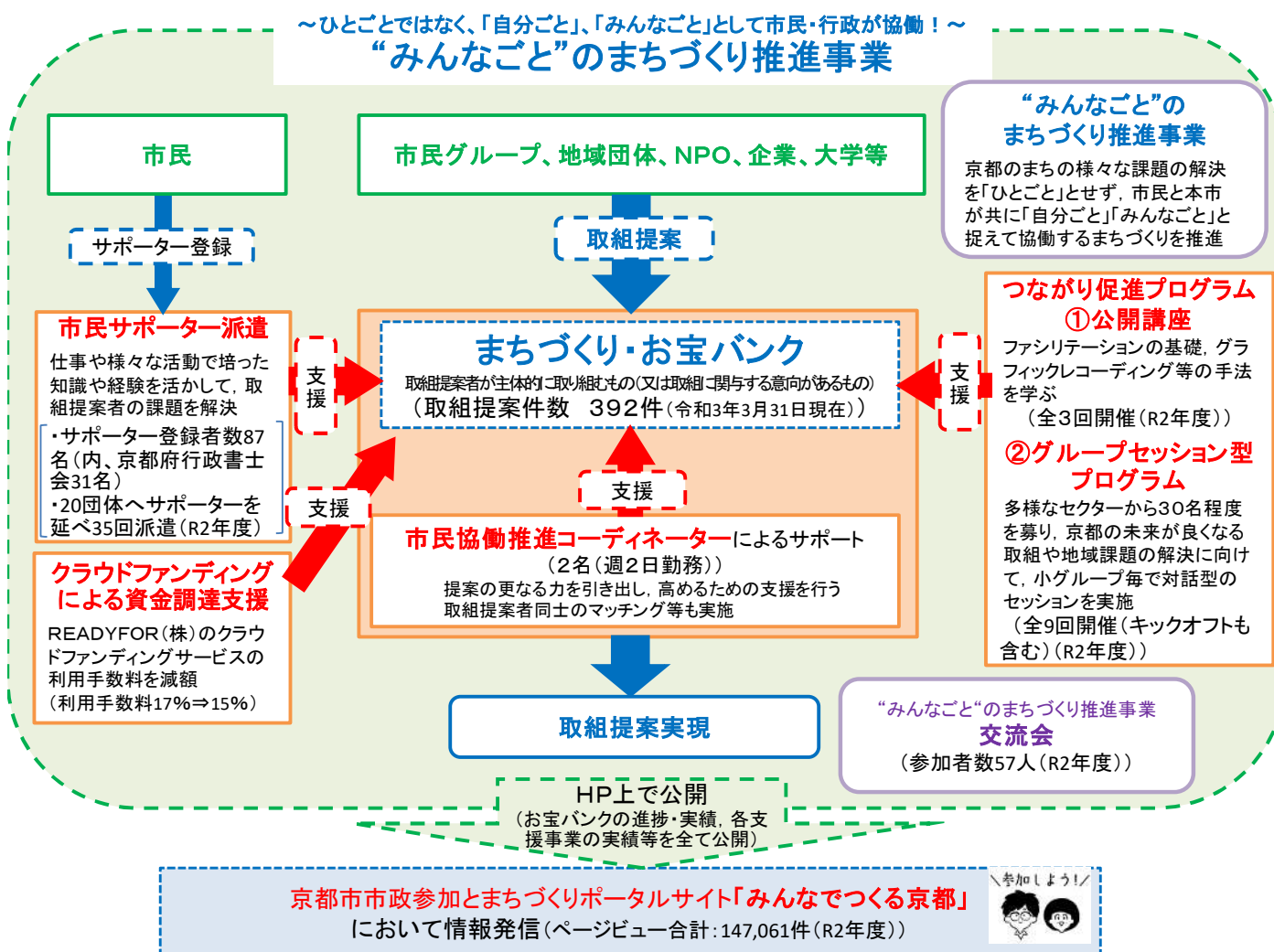


1 “みんなごと”のまちづくり推進事業について

(1) “みんなごと”のまちづくり推進事業の体系図



※「まちづくり・お宝バンク」の取組提案に対して、総合政策室に配置されている

“市民協働推進コーディネーター”(2名(週2日勤務))が、取組提案者にヒアリングのうえ、提案の実現に向けて、関係団体、関係部署を繋げるなど、的確なコーディネートを行っている。

(2) 取組提案への対応状況

きめ細やかな対応

・“みんなごと”のまちづくり推進事業では、複数の取組がつながり合い、“みんなごと”として課題に取り組む活動が広がることを目指しており、提案者の活動内容を知るだけでなく、想いをしっかりと聞き、真に必要とされていること・目指す未来像等を把握することに全力を傾けてきた。

成果を見据えたメリハリのある対応

・大きな社会的課題の解決につながるものなどについては、本市のあらゆる部署に出向き、各部署の現状・課題・ニーズ等の把握を行い、取組提案者との連携が可能かどうかについても積極的に模索し、調整を図ってきた。

「お宝バンク」の仕組みを活かした、提案者同士による自発的連携

・「お宝バンク」取組提案がウェブサイト上で登録・公開されていることから、提案者同士の連携のなど、市民活動団体や企業等との自発的な連携が広がりつつある。

【392件（令和2年3月末日時点）のコーディネート状況】

対応状況	件数
ア 取組の具体化や、一緒に活動する連携先（行政や他の提案者等）の紹介などを行ったもの（コーディネート中、コーディネート済） （内、行政施策への反映など提案が実現した（具体的な成果があった）もの： 219件 ア○） 広報を希望する団体のお宝バンクHPへの取組提案掲載のみの実績を含む	306
イ 連携の可能性がある団体を探したり、本市関連部署との協議を重ねるなど、提案の具体化に向けて検討しているもの（未コーディネート）	42
ウ その他（提案者と連絡がつかないもの、実現困難なもの、営利のみを目的としているもの、アイディアの域を超えないもの）	44
計	392

参考：前年度（平成31年度）末時点（350件）のコーディネート状況

ア 270件

（内、行政施策への反映など提案が実現した（具体的な成果があった）もの：**189件** ア○）

イ 36件

ウ 44件

【提案団体の属性（令和3年3月末日時点）】

属性	個人	市民グループ・ 地域団体	NPO	企業関係	大学関係	その他 （各種団体）	合計
件数	46	114	59	105	19	49	392

(2) コーディネートの主な具体例及び成果について（令和2年度）

令和2年4月

京都やからできるねん！国境のない体験で子供らしい子供を育む

取組提案者：国境のないお家 ULU 伊藤裕子，レディーフォー株式会社

提案者同士を京都市が
マッチング！！

オンライン英語コーチ「やりなおし英語サロン」の伊藤さんが、子供たちが集う学童のようなイメージの国籍・年齢・性別関係なく集い、皆が笑って素のままの姿でいられる場所をつくりたいと、100万円の資金調達を目指してREADYFORにてクラウドファンディングに挑戦し、令和2年4月に目標額を達成（実績額130万5千円）しました。



令和2年10月

生きづらさを抱える少女たちに寄り添う居場所づくり

取組提案者：一般社団法人京都わかくさねっと
HOSTEL NINIROOM

提案者同士が連携！！

生きづらさを抱える少女の支援や居場所づくりを若草プロジェクトinKYOTOとして取り組んでこられた京都更生保護女性連盟が、更生保護の枠を超えて支援の輪を広げるべく、一般社団法人京都わかくさねっとを新たに立ち上げられました。

この度、同じまちづくり・お宝バンク提案者NINIROOMさんと連携し、子供の未来応援基金未来の応援ネットワーク事業採択団体として「わかくさカフェ」をスタートしました。



令和2年11月

Kyo-So プロジェクト「林業科高校生と高齢者がつくる林福連携のものづくり」商品発表！

取組提案者：チーム Kyo-So（共創し，協奏し，京想する），高齢者福祉施設西院

提案者同士が連携！！

コロナ禍の中オンライン会議を導入して6月から本格的にスタートした、京北の北桑田高校森林リサーチ科の高校生と、高齢者福祉施設西院で「はたらく」高齢者のコラボ商品が完成しました！

コースター、賽銭箱型貯金箱、木製スマホスピーカーの3点で、11月7日（土）、8日（日）にあうる京北で開催される「ツクル森2020」で展示販売しました！デザインと加工を北桑田高校森林リサーチ科の高校生が、組み立て、磨き、オイル仕上げを高齢者福祉施設西院の利用者が担い、夏から秋にかけて作りました。



ア 「お宝バンク」 取組提案者の活動

令和2年7月～

地域の交流拠点をつくり、認知症への理解を広げたい！

提案者と様々な
団体が連携！！

取組提案者：京都市岩倉地域包括支援センター



認知症予防支援の取組を精力的に行ってきた岩倉包括支援センター。そんな中これまで築いてきたご縁から、使われていない農地を無償で貸していただけることに。「屋外なら安全に活動できるのでは」ということで野菜を育てる『いわくら農園倶楽部』は始まりました。子ども食堂「京都 Tera.Coya」さんへの、収穫した野菜の提供や、株式会社ヤサカさん製作協力・指導によるプランターの製作、料理試食会の開催など、様々な団体と連携しながら、持続的な活動を目指されています。

令和2年10月（平成28年4月）

「京都市スタートアップ支援2号ファンド」を設立

提案者同士と京都市

取組提案者：京都信用金庫、京都中央信用金庫、
フューチャーベンチャーキャピタル、
日本政策金融公庫、京都リサーチパーク

創業初期のベンチャー企業の資金調達支援としてファンドを設立し、ファンドを核とした創業支援体制を構築するため、取組提案者と京都市の間の相互連携・協力を目的とした協定を締結しました（平成28年4月）。

これまで、計16社の投資先企業を決定し、創業支援を実施してきた本取組を、継続・発展することを目的に、「京都市スタートアップ支援2号ファンド」を設立しました。



【投資先企業の実績】

- ① ㈱サビア (R1.5.14 投資実行)
 - ② ㈱坂ノ途中 (R1.5.15 投資実行)
 - ③ ㈱Space Power Technologies (R1.6.5 投資実行)
 - ④ フリースタイルディスプレイ㈱ (R1.8.8 投資実行)
- ※H28～30年度は「リボンディスプレイジャパン㈱」をはじめ、計12社へ投資実行済

令和2年10月

ラジオでまちづくり情報発信中

提案者と京都市が
連携！！

取組提案者：立命館大学 2020 坂田ゼミ

立命館大学産業社会学部 2020 坂田ゼミ学生のみなさんが、Radio Mix Kyoto にて毎週生放送でまちづくり情報をお届けしています。主に北区をフィールドに、地域福祉、文化産業、観光をテーマにする3チームの学生さんが、ラジオを活用して調査研究をしています。エンディングでは、まちづくり・お宝バンクの取組提案紹介もしてくださっていて、様々な取組提案についての感想などもお話してくださっています。



令和2年12月

ついに！寒天発祥の地記念碑が設置されました！

提案者と京都市が

連携！！

取組提案者：伏見寒天プロジェクト



「寒天発祥の日」である令和2年12月27日に、伏見中学校前に「寒天発祥之地」記念碑が設置されました。江戸時代の寒い冬の日、伏見区御駕籠町で偶然できたという説のある寒天発祥の地のこと・ものを、もっと知ってもらいたいという植野さんの想いが、伏見寒天プロジェクトのみなさんやそれを応援する地域の人々によって形になりました。ひとまず記念碑設置を達成し、これからも更に伏見の寒天を知ってもらえるようなまちづくりの仕掛けを考えていってほしいです。

令和3年2月

食糧支援と食品ロスを防ぐために協力

取組提案者：NPO法人インド日本友の会、嵐山こども食堂、

だいがキャンダルプロジェクト、NPO法人 happiness

提案者同士を京都市が

マッチング！！



NPO 法人インド日本友の会が運営する向島チャンドラ・セカール・アカデミー京都校のクナ・ダッシュ理事長さんから、東京都福祉保健局から災害備蓄米を大量にいただいたので、必要とされている方へお渡しできたらとのご連絡をいただきました。賞味期限が近く、残念ながらフードバンク系の団体さんの受け入れ規定に合わなかったため、まちづくり・お宝バンク取組提案者さんと、食料配布スキルを持っていそうな団体さんへお声がけをさせていただきました。1箱50食〜と大量でしたが、「ハピネス宇野様」「だいがキャンダル高向様」「嵐山こども食堂高畑様」みなさま協力を快く受けてくださり、在庫全てを活用していただくことができました。

令和3年2月

あなたの”半径 3 メートル”をもっと豊かにする「家族会議レストラン」COG で LINE 選定チャレンジャー賞を授賞！

提案者と京都市が

連携！！

取組提案者：チーム「半径3m」



2月におこなわれた全国の自治体と市民団体が連携するチームが参加するチャレンジ・オープン・ガバナンスにて、京都市のチーム HANKEI3m としてファイナリストに残り、家族会議をプレゼンテーションし、なんと LINE さんが選ぶチャレンジャー賞をいただきました！

LINE さんのグッズが届き、チーム一同喜んでおります。COG では、本番直前まで資料や台本を修正したり、オンラインでミーティングを重ねたりと、目的に向かってとりくむことができチームとしてよい時間を過ごすことができました。プレゼンテーションで満足することなく、実践まで落とし込んで、家族会議をじわじわと広げていきたいです。

2 チーム京都の活動

取組提案者:移住応援チーム及び京北振興チーム

京都で暮らす魅力の発信や移住相談への対応など、京都市への移住促進に取り組むため、移住応援や空き家活用に取り組む「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員で、「チーム京都・移住応援チーム」を結成しました。また、右京区京北地域への移住促進を進め、地域の活性化を図るため、「京北振興チーム」も結成しました。両チームが力を合わせ、京都ならではの市民力、地域の多様な魅力を活かした取組を進めています。

【両チームの取組（一部紹介 令和元年度）】

- ・移住相談窓口（市内、京北、東京）の運営
- ・京都移住茶論などのイベント開催（年10回）
- ・ホームページ「住むなら京都」での情報発信



移住イベントの様子

「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」の取組

取組提案者:文化庁京都移転私たちができること推進チーム



「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第1回会議

文化庁京都移転を契機に、京都に息づく「日本伝統の生活文化、精神文化や、多彩な文化芸術」の更なる振興・発信に取り組むため、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員でチーム京都を結成しました。「文化の力で日本を元気にするために、自分たちに何ができるか」を考え行動することにより、他の市民や様々な団体等に、共に行動する動きが、市民運動的に広がることを目指しています。



「文化庁地域文化創生本部設置記念式典」



「いきいき春の文化祭」



松山大耕氏による坐禅体験

(取組提案者)

笹岡隆甫氏（末生流笹岡家元）、ジャックパイエ氏（合気道無限塾）、
NPO法人障害者芸術推進研究機構（天才アートKYOTO）、NPO法人子育ては親育て・
みのりのもり劇場、NPO法人劇研、メディア支援センター、ヤッサン一座の紙芝居、
竹内弘一氏（KB S 京都）、松山大耕氏（退蔵院副住職）、京都学生祭典、京都青年会議所、
京都商工会議所青年部、京都市 PTA 連絡協議会、京都料理芽生会
(京都市)

文化庁移転推進室、京都創生担当、SDGs・市民協働推進担当、文化芸術企画課、
文化財保護課

【チームの取組（令和2年度）】

- ・「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第6回会議を実施。令和元年度のチーム活動と、令和2年度の取組内容について報告(R2.9.4 オンライン)
- ・京都市PTAフェスティバル（第23回）において、昨年度作成した「文化庁ウェルカム動画」を放映開催(R2.12.12 オンライン配信 (YouTube 配信, 特設サイト掲載, 特別番組放送))



- ・「マイ文化※」フォト&ムービーコンテストの開催(R2.11.15～R3.1.11)

コロナ禍で今まで見過ごしてきたかもしれない、暮らしに息づく文化を改めて感じ、文化の力が広がるよう、「マイ文化」をキーワードとして、コロナ禍においても変わらない「マイ文化」や、コロナ禍だからこそ生まれた新しい「マイ文化」等に関するフォト&ムービーコンテストを実施。

※マイ文化とは

文化庁チームから生まれた言葉。人は、それぞれ個々人のオリジナルの嗜好性、流行しているものごと、興味関心(例:マイブーム)を持っているが、その中でも、「文化」の領域に関するマイブームを「マイ文化」と呼ぶ。

フォト部門金賞 タイトル「初写経」



ムービー部門金賞 タイトル「“Miso soup”」



2 サポートメニューの取組状況について（令和2年度）

(1) 市民サポーター派遣（委託事業者：きょうとNPOセンター）

仕事や様々な活動で培った知識や経験を、まちづくりのために活かしたいと希望される市民の方々を「市民サポーター」として登録し、派遣依頼のあった「お宝バンク」取組提案者とのマッチングを行い派遣することにより支援を行うもの。

「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣制度

令和元年度は、87名（令和3年3月末日時点）のサポーター登録があり、17団体を対象に、延べ30回のサポーターを派遣しています！

派遣団体（20団体）

※以下は派遣開始順

- ① NPO 法人京都グリーンフアンド
- ② 移動する竹村商店
- ③ 一般社団法人京都映画芸術文化研究所
- ④ 一般社団法人京都映画芸術文化研究所
（※異なるテーマによる2回目の派遣）
- ⑤ 移動する竹村商店
（※異なるテーマによる2回目の派遣）
- ⑥ NPO 法人お金で学ぶさんすう
- ⑦ 高齢者福祉施設西院
- ⑧ 音楽福祉工房はればれ
- ⑨ NPO 法人チャイルドライン京都
- ⑩ NPO 法人洛西福祉ネットワーク
- ⑪ チーム半径3m
- ⑫ NPO 法人環境カウンセラーズ京都
- ⑬ 京都ダンスでつながろうプロジェクト
- ⑭ やさしい日本語を広める会
- ⑮ ぷくカフェ
- ⑯ オンライン図書室
- ⑰ 京都ダンスでつながろうプロジェクト
（※異なるテーマによる2回目の派遣）
- ⑱ 東山祇園エリア活性化事務局
- ⑲ NPO 法人まなあそび
- ⑳ チーム Kyo-So



派遣団体からの声

- ・今、実際に社会で活躍、活動、成功されている生の講師派遣いただき、丁寧に対応くださり、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・パンフレットを作るという目的だけでなく、自分たちの支援の在り方は何なのか、団体のミッション、ビジョン、アクションを掘り下げることができました。
- ・地域には、市民サポーター制度や、各区まちづくりカフェ事業など、活動を支えてくれる制度があることを知れたのも、発見となりました。

(2) つながり促進プログラム（委託事業者：まちとしごと総合研究所（代表 東信史氏））

令和元年度からの新たな取組として、「つながり促進プログラム」を立ち上げました。本プログラムでは、幅広いまちづくり活動団体を対象に、企画、広報、資金調達等の手法を学んでいただく「公開講座」及び京都のまちづくりに関心のある多様な参加者 30 名程度（まちづくり団体、NPO、企業、行政、大学関係者等）を募集し、対話型のセッションを中心に、取り組みたいテーマや実現したい未来について考え、そのための実践的なアクションを考える「グループセッション型プログラム」並びに、市民主体のまちづくりの機運を一層高めるとともに、新たな協働を生むことを目指し、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者が、他の取組提案者や、地域のまちづくり活動の担い手等と広く交流し、新たな連携や繋がりを生み出す「交流会」を実施しています。

つながり促進プログラム

令和2年度は、全3回の公開講座を実施するとともに、
全9回のグループセッション型プログラム（キックオフも含む）及び
交流会を実施しました！！

ア 公開講座

つながり促進を図る人材の養成を目指すとともに、幅広い取組提案者の活動を前進させるテーマを設定し、多数が参加できる講座を年3回開催した。

回	日時・会場	出席者	内容等
第1回 講座	R2. 10. 2 (水) 19:30~21:30 オンライン	30 人	○テーマ 繋がり、引き出し合う場をつくるオンラインファシリテーションとは ○内 容 ゲストトーク（セッション）、ワークショップ、交流 ○ゲスト 東 信史（まちとしごと総合研究所 代表組合員）
第2回 講座	R2. 10. 28 (水) 19:30~21:30 オンライン	18 人	○テーマ 多様なメンバーの持つ創造性を引き出すコミュニティ・マネジメントとは ○内 容 ゲストトーク（セッション）、ワークショップ、交流 ○ゲスト ・藤田 祐司（Peatix Japan 株式会社 共同創業者） ・舟橋 健雄（078 実行委員会 Interactive 部門統括） ・崔 禎秀（OBP アカデミア 学びの場づくり責任者） ・池嶋 亮（NPO 法人ゼロワン 理事）
第3回 講座	R2. 11. 11 (水) 19:30~21:30 オンライン	14 人	○テーマ 多くの仲間と想いをカタチに変えるための共創のデザインとは ○内 容 ゲストトーク（セッション）、ワークショップ、交流 ○ゲスト ・藤岡 聡子（ほっちのロッジ共同代表） ・西濱 萌根（株式会社 NINIROOM 共同代表）

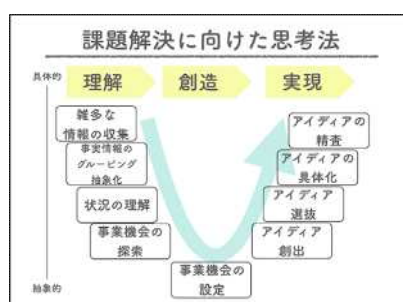


イ X Cross Sector Kyoto (グループセッション型プログラム)

多様なセクター（まちづくり団体、企業人、行政職員、大学関係者等）のメンバーを30人程度募集し、京都の未来が良くなる取組や地域課題の解決に向けて、テーマ別のグループを4～5個程度設け、セクターを超えて価値を創造するための全8回（令和2年度）のオンラインによる対話型のセッションを行った。（数回の対話型セッションの前段として、「X Cross Sector Kyoto」を紹介、宣伝する「キックオフ」も実施）

回	日時・会場	出席者	内容等
キックオフ	R2. 8. 22 (土) 13:00～15:30 オンライン	56 人	【ゲストトーク&セッション】 ○テーマ セクターを超えた繋がりが生み出すインパクトとは ○ゲスト ・臼井 隆志 (株式会社 MimicryDesign ディレクター) ・柳井 秀哉 (京都信用金庫 QUESTION 館長代理) ・中屋 祐輔 (dot button company 株式会社 代表取締役) 【参加者同士のグループセッション】 ○テーマ これからの京都で起こしたいアクションや共創とは
第1回	R2. 9. 9 (水) 20:00～21:30 オンライン	33 名	○レクチャー：共創の実現に向けた思考法とは
第2回	R2. 9. 16 (水) 20:00～21:30 オンライン	28 名	○レクチャー：先進的な事例/取り組むテーマの共有
第3回	R2. 9. 23 (水) 20:00～21:30 オンライン	27 名	○セッション：プログラムを通じて実現したいことは？
第4回	R2. 9. 30 (水) 20:00～21:30 オンライン	25 名	○セッション：取り組むテーマとチームづくり
第5回	R2. 10. 21 (水) 20:00～21:30 オンライン	19 名	○レクチャー：提案再考のためのリサーチとは
第6回	R2. 11. 4 (水) 20:00～21:30 オンライン	23 名	○中間発表：アドバイザーによるフィードバック
第7回	R2. 11. 18 (水) 20:00～21:30 オンライン	24 名	○レクチャー：ビジネス・事業化に向けた視点とは
第8回	R2. 12. 2 (水) 20:00～21:30 オンライン	26 名	○最終発表：多様なレビュアーによるフィードバック

※上記の「全体セッション」以外に、「個別グループセッション」については随時開催



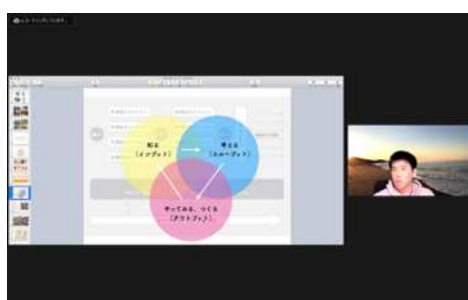
8回のセッションを終え、以下の5つのプロジェクトが生まれた。

取り組みたいテーマ	人数	取組内容
モバイル屋台	5名	屋台の制作や貸し出しを通した、つながりづくりの創出
屋外体験拠点 ～ふらっと空の下～	5名	多様なメンバーがふらっと立ち寄れる、屋外体験拠点の創出
オンライン図書室 ～The book part of me～	6名	読んだ当時のエピソードとともに、本をオンライン上に陳列し、同じ状況や悩みを持つ方の参考にしてもらう
Shiru-te? 手話を一つの共通言語に	8名	手話をより身近な一つの共通言語として、感じられる仕掛けづくり
多様性と共生を考える会	4名	身近な人には言いづらい悩みを、顔や素性を明かさずに話すことのできる場をつくる

ウ 活動報告会&交流会

市民主体のまちづくりの機運を一層盛り上げ、様々な主体同士の協働のまちづくりを推進することを目的に、X Cross Sector Kyoto（グループセッション型プログラム）で生まれた活動報告会とともに、“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と、他の取組提案者や地域のまちづくり活動の担い手等が広く交流する「交流会」を実施した。

開催日時	令和3年2月27日（土） 13時～16時
会場	オンライン
参加者数	57人（スタッフを除く）
内容	○ はじまりの挨拶 ○ プログラム参加者による活動報告 ○ ゲストトーク&セッション ＜トークゲスト＞内田 有記さん／丸毛 幸太郎さん 「コロナ禍でも紡ぎ始まる、オンライン対話と実践の場づくり」 ○ 参加者同士のグループセッション 「これからの京都で起こしたいアクションや共創とは」 ○ 全体共有・クロージングセッション ○ おわりの挨拶／終了



(3) クラウドファンディングによる資金調達支援

READYFOR 株式会社と基本協定を締結（平成 30 年 3 月 9 日）し、取組提案の実現に向けた新たな支援策として、同社が運営するクラウドファンディングサービス（※）の活用による、取組提案者の資金調達を支援する仕組みを創設した。

この基本協定に基づき、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者が、READYFOR 株式会社クラウドファンディングサービスを利用した場合、目標金額を達成したときに発生する利用手数料（フルサポートプラン 17%、シンプルプラン 12%）が、以下の表に記載された手数料に減額されます。

区分	手数料
フルサポートプラン （専任担当者が付く）	15% （ただし、支給額の15%が10万円を下回る場合は10万円）
シンプルプラン （専任担当者が付かない）	10%

(※) クラウドファンディングサービス

インターネットを通じて不特定多数の人から資金を集める仕組み。不特定多数の人々に比較的少額の資金提供を呼びかけ、一定額が集まった時点でプロジェクトを実行することで、資金調達のリスクを低減することが可能になる。



クラウドファンディングサービスの支援・募集ページ



NPO 法人インド日本友会のクラウドファンディング

<プロジェクト実施事例>

OREADYFOR 株式会社によるクラウドファンディング達成事例

- ・令和 2 年 4 月お宝バンク No.345 京都やからできるねん！国境のない体験で子供らしい子供を育む
⇒目標額(100 万円)を達成(約 131 万円)
- ・令和 2 年 7 月 お宝バンク No.324 市販薬データ集『クスリ早見帖』を病院・診療所・薬局に届けたい
⇒目標額(60 万円)を達成(約 91 万円)
- ・令和 2 年 9 月 お宝バンク No.247 『死生観光トランプ』を制作して死を考えたい
⇒目標額(35 万円)を達成(約 109 万円)

(4) 京都市市政参加とまちづくりポータルサイト「みんなでつくる京都」

ポータルサイト「みんなでつくる京都」(平成28年12月に開設)において、“みんなごと”のまちづくり推進事業の情報のほか、パブリック・コメントや公募委員等の募集、まちづくり活動を支援する制度などについて積極的に発信。

当サイトをより使いやすいものにするために、また、より親しみを持っていただくために、サイト構築段階で市民意見を取り入れるワークショップを開催したほか、市民の方にコンテンツ作成に御協力いただく取組を実施。

<市民意見を取り入れるワークショップ>

○「まちづくりポータルサイトミーティング」

開催日：平成28年6月24日(金)

概要：利用者のニーズに合ったサイトとなるよう、どのような工夫が必要か意見を聴くワークショップを実施。

<コンテンツ作成における市民参加の取組>

○「市民ライター講座」

開催日：平成29年1月15日(日)、9月9日(土)、平成30年10月22日(月)

概要：「“みんなごと”のまちづくり推進事業」における取組提案者の想いや活動の紹介記事を市民の方が作成。

○「“みんなごと”宣伝部」

開催日：平成31年1月12日(土)、2月2日(土)

概要：取組提案者が、フェイスブック等での情報発信に必要な文章の作成方法や写真の撮影等を学んだうえ、情報発信を行う。

「まちづくり・お宝バンク」TOPICS



ポータルサイト「みんなでつくる京都」

お宝バンクの取組成果を広く公開!!

※平成28年12月27日に一部開設。

平成29年1月27日に全部公開。

※ページビュー

1日平均403件(令和2年4月1日から
令和3年3月31日までの平均)
147,061件(令和2年度の合計)

○「みんなでつくる京都」のサイト構成

- ① 京都市における市民参加の考え方
- ② パブリック・コメント、審議会等の市政参加に関する制度等
- ③ まちづくり活動に役立つ制度や施設等
- ④ 「まちづくり・お宝バンク」
- ⑤ 京都市のサイト一覧